

資料5

目標達成のための具体的な取り組みの進捗状況

[公立豊岡病院組合改革プラン]

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価																																
I 医師 確保 対策	① 医師修学資金貸与医学生確保・定着促進	<p>医師を目指す但馬地域出身者に修学資金を貸与することにより、将来、公立豊岡病院組合立病院で診療に従事する医師の確保を図る。</p> <p>新規貸与者の確保 3名 ※目標・・・毎年度3名程度</p>	<p>新規貸与者数 3名 研修開始医師数 5名（卒業生数5名） (参考)年度末制度利用者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>医学生</th> <th>卒後</th> <th>卒業生</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年生</td> <td>3名</td> <td>1年目 研修医</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>2年生</td> <td>2名</td> <td>2年目 研修医</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>3年生</td> <td>1名</td> <td>3年目 専攻医</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>4年生</td> <td>4名</td> <td>4年目 専攻医</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>5年生</td> <td>2名</td> <td>5年目 専攻医</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>6年生</td> <td>2名</td> <td>6年目～</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>14名</td> <td>合計</td> <td>7名</td> </tr> </tbody> </table>	学年	医学生	卒後	卒業生	1年生	3名	1年目 研修医	5名	2年生	2名	2年目 研修医	1名	3年生	1名	3年目 専攻医	1名	4年生	4名	4年目 専攻医	0名	5年生	2名	5年目 専攻医	0名	6年生	2名	6年目～	0名	合計	14名	合計	7名	○	
	学年	医学生	卒後	卒業生																																	
	1年生	3名	1年目 研修医	5名																																	
	2年生	2名	2年目 研修医	1名																																	
3年生	1名	3年目 専攻医	1名																																		
4年生	4名	4年目 専攻医	0名																																		
5年生	2名	5年目 専攻医	0名																																		
6年生	2名	6年目～	0名																																		
合計	14名	合計	7名																																		
② 医師のキャリアアップ支援	<p>医師の豊岡病院組合への定着を図るため、医師のキャリアアップへの支援を行う。</p> <p>医師の学会専門医、認定医の取得及び更新等に係る費用を助成する。</p>	<p>医師が所属する学会年会費の助成を継続する。</p>	<p>文書通知や就職時オリエンテーションなどの機会を活用して、助成制度の周知に努めた。 (単位:件、千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">取得・更新費</td> <td>件数</td> <td>11</td> <td>29</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>847</td> <td>801</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">学会年会費</td> <td>件数</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td>515</td> <td>576</td> <td>662</td> </tr> </tbody> </table>		項目	H24	H25	H26	取得・更新費	件数	11	29	28	金額	847	801	410	学会年会費	件数	55	60	54	金額	515	576	662	○										
	項目	H24	H25	H26																																	
取得・更新費	件数	11	29	28																																	
	金額	847	801	410																																	
学会年会費	件数	55	60	54																																	
	金額	515	576	662																																	
③ 医師の業務軽減	<p>医師の労働環境を改善し、豊岡病院組合への定着を図る。</p>	<p>医師事務作業補助者を配置して、医師の業務負担軽減を図る。</p> <p>医療情報システムの改修による入力負担軽減・閲覧性の向上を図る。</p>	<p>入力業務や資料作成などを行う医師事務作業補助者を配置し、引き続き医師の業務負担軽減を行った。 (H24:37人、H25:41人、H26:38人)</p> <p>システム改修件数 4件 (7,236千円)</p>	○																																	
④ 業績に対する評価・報奨	<p>前年度決算を元に、類似病院や改革プラン目標値及び実績と比較して、病院毎に業績を評価するとともに、評価に応じた予算配分を行うことで、意欲を高め定着に資する。</p>	<p>業績評価に応じた予算配分の継続</p>	<p>業績評価に応じた予算配分を継続した。 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報奨予算額</td> <td>15,000</td> <td>15,000</td> <td>10,000</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	報奨予算額	15,000	15,000	10,000	○																									
	H24	H25	H26																																		
報奨予算額	15,000	15,000	10,000																																		

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価																																							
I 医師確保対策	⑤ その他 改革プランに計画されていないが新規に取り組んだ項目	尼崎病院と組合立病院との間で整備(H25)したTV会議システムによる合同テレカンファレンスの継続開催。	カンファレンス開催回数 12回 教育講演開催回数 10回	—	—																																							
		テレビ会議システムを神戸大学医学部や但馬の公立病院等へ拡大し、遠隔医療教育ネットワークの充実を図る。	新たに神戸大学医学部、豊岡病院講堂、豊岡病院5西(総合診療科)カンファレンス室へ整備																																									
		地域医療研修の受入れによる将来医師の確保 H25～県立尼崎病院 県立塚口病院、 大阪市立総合医療センター H26～県立西宮病院 神戸大学(和田山)	受入れ実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日高MC</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>出石MC</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>梁瀬MC</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>和田山MC</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>				H24	H25	H26	日高MC	—	3	3	出石MC	—	3	3	梁瀬MC	—	3	6	和田山MC	—	—	4																			
			H24			H25	H26																																					
日高MC	—	3	3																																									
出石MC	—	3	3																																									
梁瀬MC	—	3	6																																									
和田山MC	—	—	4																																									
院内保育所の整備による就労環境の改善	H26年11月より開始(最大20名) 年度未受入れ人数:13人																																											
II 収入向上対策	① DPCの効率的運用 DPC機能評価係数IIの向上に繋がる施策の実施し収入増を図る。(豊岡病院のみ)	DPC機能評価係数IIの向上に繋がる効率性指数(平均在院日数の短縮)と後発医薬品係数(後発医薬品の採用)の増加を図る。	・DPC機能評価係数IIの推移(※参考) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>データ提出指数に基づく係数</td> <td>0.00204</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>保険診療係数</td> <td>—</td> <td>0.00731</td> </tr> <tr> <td>効率性指数に基づく係数</td> <td>0.00340</td> <td>0.00785</td> </tr> <tr> <td>複雑性指数に基づく係数</td> <td>0.00446</td> <td>0.00863</td> </tr> <tr> <td>カバー率指数に基づく係数</td> <td>0.00283</td> <td>0.00764</td> </tr> <tr> <td>救急医療係数</td> <td>0.00624</td> <td>0.01054</td> </tr> <tr> <td>地域医療指数に基づく係数</td> <td>0.00284</td> <td>0.01626</td> </tr> <tr> <td>後発医薬品係数</td> <td>—</td> <td>0.00360</td> </tr> <tr> <td>機能評価係数II(計)</td> <td>0.02181</td> <td>0.06183</td> </tr> <tr> <td>※機能評価I</td> <td>0.79700</td> <td>0.08290</td> </tr> <tr> <td>※医療機関群基礎係数II→III</td> <td>1.08320</td> <td>0.19925</td> </tr> <tr> <td>※医療機関別係数</td> <td>1.24660</td> <td>1.24200</td> </tr> </tbody> </table> ・在院日数短縮化のため、クリティカルパス委員会(年間12回)の開催と共にクリティカルパス(3件)の見直しを行った。		H25	H26	データ提出指数に基づく係数	0.00204	—	保険診療係数	—	0.00731	効率性指数に基づく係数	0.00340	0.00785	複雑性指数に基づく係数	0.00446	0.00863	カバー率指数に基づく係数	0.00283	0.00764	救急医療係数	0.00624	0.01054	地域医療指数に基づく係数	0.00284	0.01626	後発医薬品係数	—	0.00360	機能評価係数II(計)	0.02181	0.06183	※機能評価I	0.79700	0.08290	※医療機関群基礎係数II→III	1.08320	0.19925	※医療機関別係数	1.24660	1.24200	△	
	H25	H26																																										
データ提出指数に基づく係数	0.00204	—																																										
保険診療係数	—	0.00731																																										
効率性指数に基づく係数	0.00340	0.00785																																										
複雑性指数に基づく係数	0.00446	0.00863																																										
カバー率指数に基づく係数	0.00283	0.00764																																										
救急医療係数	0.00624	0.01054																																										
地域医療指数に基づく係数	0.00284	0.01626																																										
後発医薬品係数	—	0.00360																																										
機能評価係数II(計)	0.02181	0.06183																																										
※機能評価I	0.79700	0.08290																																										
※医療機関群基礎係数II→III	1.08320	0.19925																																										
※医療機関別係数	1.24660	1.24200																																										

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価																					
Ⅱ 収入 向上 対策	① D P C の効率的運用	D P C 機能評価係数Ⅱ向上に繋がる施策の実施し収入増を図る。(豊岡病院のみ)	D P C 機能評価係数Ⅱの向上に繋がる効率性指数(平均在院日数の短縮)と後発医薬品係数(後発医薬品の採用)の増加を図る。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>H26.6</td> <td>H26.9</td> <td>H26.12</td> <td>H27.3</td> </tr> <tr> <td>32.4%</td> <td>59.4%</td> <td>66.5%</td> <td>68.1%</td> </tr> </table>	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	32.4%	59.4%	66.5%	68.1%	—														
	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3																						
	32.4%	59.4%	66.5%	68.1%																						
	② 新たな施設基準の取得	診療報酬上有利となる施設基準を取得し、収益の向上を図る。	新たな施設基準を取得し、収益の確保に努める。	新たに取得した施設基準の状況 (単位:千円) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>施設基準名称</th> <th>病院名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術</td> <td>豊岡</td> <td>16,260</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策加算Ⅰ</td> <td>豊岡</td> <td>3,532</td> </tr> <tr> <td>CAD/CAM冠(加算含む)</td> <td>豊岡</td> <td>277</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策加算Ⅱ</td> <td>日高</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>胃ろう造設術</td> <td>出石・和田山</td> <td>547</td> </tr> <tr> <td>胃ろう造設時嚥下機能評価加算</td> <td>出石</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	施設基準名称	病院名	金額	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	豊岡	16,260	感染防止対策加算Ⅰ	豊岡	3,532	CAD/CAM冠(加算含む)	豊岡	277	感染防止対策加算Ⅱ	日高	39	胃ろう造設術	出石・和田山	547	胃ろう造設時嚥下機能評価加算	出石	100	○
施設基準名称	病院名	金額																								
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	豊岡	16,260																								
感染防止対策加算Ⅰ	豊岡	3,532																								
CAD/CAM冠(加算含む)	豊岡	277																								
感染防止対策加算Ⅱ	日高	39																								
胃ろう造設術	出石・和田山	547																								
胃ろう造設時嚥下機能評価加算	出石	100																								
③ 組合外加算の見直し	豊岡市及び朝来市から条例に基づいた経費負担を受けていることから、構成市以外の患者から加算金を徴収することにより、負担の公平化を図る。	実施済み(H20年12月) ※(参考)加算料金 ・非紹介患者初診加算料(3割加算) ・時間外診察料(3割加算) ・特別病室使用料(3割加算) ・分娩介助料(12千円加算)	実施済み(H20年12月)	—	—																					
④ 未収金の発生率の抑制及び未収金の回収率の向上	未収金の発生の抑制と回収強化により、収益を確保する。	発生から早く回収に着手することで、焦げ付き未収金(発生から1年超)の発生を抑制する。また、自主回収困難債権については、弁護士事務所への委託による回収を行い、最終的な不納欠損処理額の減額に努める。	未収金防止・回収マニュアルに基づき、早期回収の取り組みを継続した。また、債権発生から2ヶ月以上が経過し、自主回収が困難と判断した債権は、弁護士事務所へ回収を委託した。 (単位:千円) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>焦付未収金発生額</td> <td>5,722</td> <td>3,127</td> <td>1,838</td> </tr> <tr> <td>回収額(委託額)</td> <td>未実施</td> <td>250 (3,486)</td> <td>891 (4,100)</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	焦付未収金発生額	5,722	3,127	1,838	回収額(委託額)	未実施	250 (3,486)	891 (4,100)	○										
	H24	H25	H26																							
焦付未収金発生額	5,722	3,127	1,838																							
回収額(委託額)	未実施	250 (3,486)	891 (4,100)																							

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価																
Ⅱ 収入 向上 対策	⑤ 遊休不動産の売却	不要な不動産を売却することにより、資金を確保する。	豊岡市の千代田町(土地)、大磯町(土地・建物)、三坂町(土地・建物)の3物件を売却し資金を確保する。 (単位:件、千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売却件数</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>売却金額</td> <td>11,980</td> <td>36,430</td> <td>45,500</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	売却件数	2	5	1	売却金額	11,980	36,430	45,500	○					
		H24	H25	H26																	
	売却件数	2	5	1																	
売却金額	11,980	36,430	45,500																		
⑥ 有料広告の募集	病院が保有する資産の有効活用を図るため、ホームページ、広報紙、領収書裏面等への有料広告掲載を検討する。	病院の広報紙(ほすびたる)及びホームページへ広告を掲載を継続する。	広告掲載を継続した。 (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報紙</td> <td>331</td> <td>151</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>ホームページ</td> <td>151</td> <td>268</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>482</td> <td>419</td> <td>208</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	広報紙	331	151	208	ホームページ	151	268	0	合計	482	419	208	○	
	H24	H25	H26																		
広報紙	331	151	208																		
ホームページ	151	268	0																		
合計	482	419	208																		
⑦ その他	改革プランに計画されていないが新規に取り組んだ項目	手術室の効率的運用を行うために、業務分析及び改善検討を行う。 自動販売機設置事業者の公募等による手数料収入の見直しを行う。	手術室の稼働状況と手術原価の把握による手術インターバルや看護師の間接業務の改善、術式の収益性向上の検討を実施した。 自動販売機設置手数料について公募を行い手数料収入の増加を達成した。(6百万円/年) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動販売機手数料</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>6.0</td> </tr> </tbody> </table> ※4月分手数料から見直し	項目	H24	H25	H26	自動販売機手数料	—	—	6.0	—	—								
項目	H24	H25	H26																		
自動販売機手数料	—	—	6.0																		
Ⅲ 医療 機能 向上 対策	① 病診連携・病病連携の強化促進	豊岡病院の地域医療支援病院取得を目指して、取得要件である紹介率・逆紹介率の基準達成に向けた取り組み(病診連携協議会の開催、開業医の定期訪問、医師会理事会への病院長出席、住民への啓蒙活動など)を継続する。	紹介率・逆紹介率の基準達成に向け、病診連携協議会の開催、病診連携推進員による開業医の定期訪問、医師会理事会への病院長出席、病院診療情報の発行、広報紙を活用した住民啓蒙活動などに取り組んだ。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>基準</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>65% (60%)</td> <td>36.9%</td> <td>41.1%</td> <td>43.6%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>40% (30%)</td> <td>29.8%</td> <td>41.3%</td> <td>45.0%</td> </tr> </tbody> </table> ※基準は要件2の場合、()内はH25までの基準	項目	基準	H24	H25	H26	紹介率	65% (60%)	36.9%	41.1%	43.6%	逆紹介率	40% (30%)	29.8%	41.3%	45.0%	△		
			項目	基準	H24	H25	H26														
紹介率	65% (60%)	36.9%	41.1%	43.6%																	
逆紹介率	40% (30%)	29.8%	41.3%	45.0%																	

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価													
Ⅲ 医療 機能 向上 対策	② 7対1看護の効率的な運営推進	7対1看護基準の取得による手厚い看護体制を実現し、質の高い医療を提供する。	看護師確保策の検討及び実施体制として「看護師確保戦略・プロジェクト会議」を設置し、取り組み強化を図り、平成27年度からの7対1看護基準の取得を目指す。	《施策の検討及び実行体制》 ・看護師確保戦略会議の設置、開催 ・看護師確保プロジェクト会議の設置、開催 《非稼働人員の稼働化》 ・育休等復帰者に対する復帰条件の個別相談 ・院内保育所の設置(11月) 《新規人材獲得》 ・採用試験の定期開催(毎月) ・京阪神等の就職セミナーへの積極参加 ・オープンホスピタル・インターンシップの開催 ・広報活動(チラシ、ポスター、メディア等) ⇒H27年6月から7対1基準の取得	○													
	③ クリティカルパスの推進	クリティカルパスを活用した医療提供プロセスの標準化を進め、医療の質向上を図る。	継続的にして新規クリティカルパスの作成・適用症例数の増加に取り組む。	新規：7件・廃止：3件・総数：125件 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規パス数</td> <td>6</td> <td>12</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>総パス数</td> <td>109</td> <td>121</td> <td>125</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	新規パス数	6	12	4	総パス数	109	121	125	○	
		H24	H25	H26														
	新規パス数	6	12	4														
	総パス数	109	121	125														
	④ 連携パスの推進	医療連携体制に基づく地域完結型医療を実現するため、地域連携パスの活用を推進する。(脳卒中・大腿骨頸部骨折・5大がん)	継続して地域連携パスの種類と適用症例数の増加に取り組む。	(単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>症例名</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳卒中</td> <td>8</td> <td>46</td> <td>35</td> </tr> <tr> <td>5大がん</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table>	症例名	H24	H25	H26	脳卒中	8	46	35	5大がん	1	2	2	○	
症例名	H24	H25	H26															
脳卒中	8	46	35															
5大がん	1	2	2															
⑤ 病院機能評価の受審とフォローアップの実施	継続的な医療の質向上のため、第三者評価である病院機能評価の受審とフォローアップを実施する。	病院機能評価の受審と認定の継続。(豊岡病院)	審査日：平成26年9月18日 認定日：平成26年12月5日 有効期限：平成31年4月18日	○														
⑥ その他	改革プランに計画されていないが新規に取り組んだ項目	・入院患者に対する休日リハビリを年次的に拡大する。(豊岡) H26～ 祝日 H27～ 土曜 H28～ 日曜 ・理学療法士を増員し、在宅患者に対する訪問リハビリを拡大する。(日高)	・リハビリ実施単位数 (単位：単位) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>豊岡病院</td> <td>55,765</td> <td>70,579</td> </tr> </tbody> </table> ・訪問リハビリ登録利用者数 (単位：人) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日高医療センター</td> <td>25</td> <td>34</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	豊岡病院	55,765	70,579		H25	H26	日高医療センター	25	34	—	—	
	H25	H26																
豊岡病院	55,765	70,579																
	H25	H26																
日高医療センター	25	34																

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価																												
Ⅲ 医療機能 向上対策	⑥ その他 改革プランに計画されていないが新規に取り組んだ項目	(仮称)朝来医療センターの開院に向けた地域医療連携推進のための体制強化。(和田山)	メディカルソーシャルワーカーを臨時職員から正規職員化し、体制強化を図った。	—	—																												
		周産期医療センターの整備 平成28年1月の供用開始を目途に、但馬の周産期医療の拠点を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年1月15日供用開始 総事業費：1,744,905千円 主な高額医療機器 分娩監視装置(42,120千円) 新生児重症患者監視システム(87,998千円) 																														
		(仮称)朝来医療センターの整備 建築工期短縮と費用削減を目的に設計施工一括発注のデザインビルド方式での建設業者選定と建築工事の着手をする。	<ul style="list-style-type: none"> 事業費：6,970,000千円 詳細設計と建築工事業者の選定：(株)竹中工務店 平成27年2月建築工事開始 医療機器整備計画の策定 医療情報システム選定：(株)C S I 																														
		災害拠点病院機能強化のため災害時医療支援車両と資機材を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時医療支援車両 (DMATカー) と必要資機材の整備(20,000千円) 																														
		医療機能維持、向上のための医療機器の整備更新	<ul style="list-style-type: none"> 主な高額医療機器 内視鏡システム(14,526千円)：豊岡 超広角走査レーザー検眼装置(26,460千円)：日高 内視鏡システム(7,884千円)：出石 X線CT診断装置(15,660千円)：梁瀬 大腸ビデオスコープ(3,629千円)：和田山 																														
Ⅳ 経費削減 対策	① 競争原理の働くような契約方法等の見直し 競争原理を働かせるために、スケールメリットを最大限に生かす統一契約の拡大と、従来の契約方法にとらわれない積極的な契約見直しを進める。	従来、検査基準値の変動を避けるために1者随意契約としていた検査委託業務について入札を実施する。	<p>計画どおり検査委託業務の入札を実施し大幅な委託料減を達成した(H27以降△22百万円/年)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師制服の統一</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>寝具契約内容の見直し</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> <td>4.6</td> </tr> <tr> <td>検査委託入札実施等</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> <td>12.0</td> </tr> <tr> <td>在宅酸素機器見直し</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>病室TV契約の統一</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28.6</td> <td>28.6</td> <td>28.6</td> </tr> </tbody> </table>	項目	H24	H25	H26	看護師制服の統一	7.0	7.0	7.0	寝具契約内容の見直し	4.6	4.6	4.6	検査委託入札実施等	12.0	12.0	12.0	在宅酸素機器見直し	1.0	1.0	1.0	病室TV契約の統一	4.0	4.0	4.0	合計	28.6	28.6	28.6	○	
項目	H24	H25	H26																														
看護師制服の統一	7.0	7.0	7.0																														
寝具契約内容の見直し	4.6	4.6	4.6																														
検査委託入札実施等	12.0	12.0	12.0																														
在宅酸素機器見直し	1.0	1.0	1.0																														
病室TV契約の統一	4.0	4.0	4.0																														
合計	28.6	28.6	28.6																														

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価									
IV 経費削減対策	② 診療材料購入の外部委託化の検討・実施	医業費用の2～3割を占める診療材料費を削減するための方法を検討・実施する。	契約期間満了に伴うSPD業者の見直しと5病院材料統一化・単価減に伴う費用減の推進を行う。	<ul style="list-style-type: none"> SPD業者の見直し H26.7 プロポーザル実施・契約締結 H27.2 新業者による業務開始 削減効果 H26 △17百万円/年 H27 △56百万円/年 材料統一効果 9品目、△3百万円/年 	○									
	③ 適正な人員配置による委託化・臨職補充	退職者不補充(臨職化等)による給与費の適正化を図る。	豊岡病院の機能訓練助手(1名)退職後、正規補充無し対応とする。	豊岡病院の機能訓練助手(1名)退職後、再任用で対応した。今後は臨時職員で対応する予定。	○									
	④ 業務委託の推進	外部委託により、質の向上や効率化が図られる業務の外部委託化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 手術室清掃業務の追加(豊岡) 医事業務(梁瀬) 	H26.4～手術室清掃・準備補助業務の追加(豊岡) H27.4～医事業務(梁瀬)	○									
	⑤ 後発薬品の使用率向上促進	後発医薬品の採用率を増やし、薬品費の削減を図る。	後発品採用率を国の目標値である60%以上とする。	後発品採用率の推移(数量ベース) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>H26.6</th> <th>H26.9</th> <th>H26.12</th> <th>H27.3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32.4%</td> <td>59.4%</td> <td>66.5%</td> <td>68.1%</td> </tr> </tbody> </table> 削減効果額 △23百万円/年	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3	32.4%	59.4%	66.5%	68.1%	○	
	H26.6	H26.9	H26.12	H27.3										
	32.4%	59.4%	66.5%	68.1%										
	⑥ 補償金免除繰上償還の実施	途中解約に伴う違約金が免除される臨時特例措置を活用し、低利率企業債への借換えを行うことで支払利息の軽減を図る。	平成19年度～平成21年度で、対象となる全ての企業債について借り換え実施済み。	実施済み(H19～H20)	—	—								
	⑦ 適正な給与体系の検討	国、県、構成市との給与等の比較検討を行い、適正な給与体系とする。	人事院勧告に準拠した改正を継続する。	人事院勧告に準拠し、55歳以上の職員の昇給の原則停止(継続)また、人事院勧告に準拠し、若年層を中心とした給料改定(0.3%引き上げ)と、勤勉手当の支給割合の0.15月分の引き上げと共に、給与制度の総合的見直しによる給与改定(2%引き下げ)を決定。(H27.4実施)	○									
⑧ 互助会助成金の見直し	職員互助会への助成金の見直しによる費用削減を行う。	実施済み(H21)	実施済み(H21)	—	—									

具体的取組項目・説明		26年度計画	26年度実績	病院組合 自己評価	委員会 評価												
V 経営意識 向上対策	① B S Cの推進と情報の共有化	B S Cを活用して経営戦略の共有化と実行管理を行う。また、経営研修等への参加促進など経営意識の向上を図る。	B S Cの推進等により、経営意識の向上に向けた情報の共有化を図る。また、病院経営関連学会や研修会への参加を計画的に実施し必要な知識の獲得・経営意識の向上を図る。	事務部門の若手職員を対象に、若手職員の役割について研修を行い、看護部門においては、階層別にマネジメント手法や組織の活性化について研修を行い、経営意識向上と意識の共有化を図った。また、経営幹部層や次代を担う中堅職員(医療職含む)に、病院経営関連の学会・研修会へ参加させ、知識獲得と経営意識向上を図った。 <table border="1" data-bbox="1585 419 1872 552"> <tr> <td></td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>学 会</td> <td>9人</td> </tr> <tr> <td>セミナー</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>研 修 会</td> <td>11人</td> </tr> </table>		H26	学 会	9人	セミナー	5人	研 修 会	11人	△				
		H26															
学 会	9人																
セミナー	5人																
研 修 会	11人																
	② 全職員で経営改善への取組(ワンコイン作成)の展開	職員一人ひとりが、1日500円分(ワンコイン)の経営への貢献を行うという心構えを浸透させる。	経営への貢献に対する職員の意識向上を図るため、院内掲示等を利用する。	<ul style="list-style-type: none"> ・節電等の啓蒙ポスターの作成と掲示(継続) ・会議資料等、院内にて使用する資料の両面コピーの徹底(継続) 	○												
VI 広報及び連携対策	① ホームページの充実	病院組合の情報戦略の一環として、ホームページの充実を図る。	適時適切な更新を行い情報発信に努める。	診療担当表の変更、休診のお知らせなど、適宜ページを更新し情報発信を行った。	○												
	② 「ほすびたる」「FMジャングル」等による積極的な情報提供等	病院組合の情報戦略の一環として、各種広報媒体を利用して市民等への情報提供を行う。	広報紙ほすびたるやFMジャングルを活用して情報提供を行う。	ほすびたるを隔月(5月・7月・9月・11月・1月・3月)で発行し情報提供を行った。また、FMジャングルを活用して病院祭の広報等も行った。 <table border="1" data-bbox="1308 911 1872 1011"> <tr> <td></td> <td>H24</td> <td>H25</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>ほすびたる(定期)</td> <td>6回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>ほすびたる(臨時)</td> <td>0回</td> <td>0回</td> <td>0回</td> </tr> </table>		H24	H25	H26	ほすびたる(定期)	6回	6回	6回	ほすびたる(臨時)	0回	0回	0回	○
	H24	H25	H26														
ほすびたる(定期)	6回	6回	6回														
ほすびたる(臨時)	0回	0回	0回														

×：取組みが不十分であり、著しく遅れている。

△：取組みが不十分であり、やや遅れている。

○：計画を上回って進んでいる。